

徳之島町 町誌編さん だより

創刊号

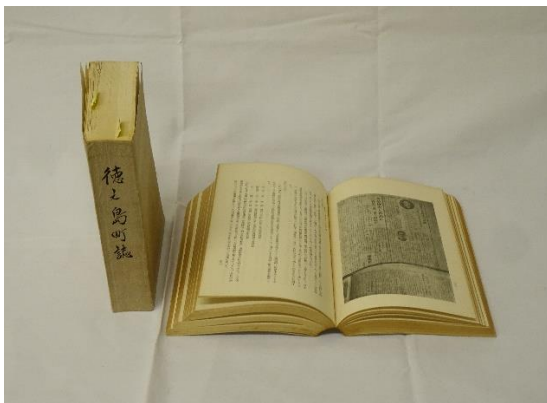
2018. 5. 10

新たな『徳之島町史(仮称)』の編さん、はじまる！

昭和45年3月(今から約半世紀前)に刊行された『徳之島町誌』の土台のうえに、最新の研究成果を加えての町誌の「再」編さん事業がいよいよ動き出しました。奄美諸島を対象とした研究はじつにめざましいものがあり、多くの専門家に参加をお願いし、新たな知見をふまえて、21世紀の『徳之島町史(仮称)』をまとめていくこととなりました。

先史から現代にかけてのそれぞれの時代に、どのような歴史が繰り広げられてきたのかを明らかにし、町域や島内の自然環境やそこに住む人々の生活文化について、より具体的に知ることができると考えています。

『徳之島町史(仮称)』の刊行にあたっては、これまでの堅いイメージから抜け出せるようなものをめざします。写真やイラストを多用するようにし、色刷で読者の方々へ視覚に訴えるよう工夫をこらし、専門的な事柄も読みやすく親しみやすくなるよう、編さんを進めていく予定です。新たな『徳之島町史(仮称)』の編さんが実現するよう、町民の皆様・関係各位に対しご支援ご協力をお願いいたします。



▲ 旧版『徳之島町誌』



▲ 編さん室所蔵の奄美諸島の自治体史(一部)

町誌編さん室を開設！！

町誌編さん事業の本格化にともない、事務局として、4月2日(月)に生涯学習センター3階の郷土資料館事務室隣室に「町誌編さん室」が設置され、スタッフが配置されました。皆様よろしくお願ひいたします。

町誌編さん室長(兼 郷土資料館長)	:	米田博久
町誌編さん室主事補	:	東 慶久
町誌編さん専門員	:	岩下洋一・大村達郎

町誌編さん審議会・編集委員会の委員を選定へ！

町長の諮問に応じて、刊行計画や刊行巻の構成、専門部会構成、編集上の基本方針、調査・執筆者の情報交換等の重要事項について審議し意見具申をするのが「町誌編さん審議会」の役割です。現在、審議会の委員メンバー（8名）を選定中、あるいは依頼交渉中です。

また、町内で実際に調査・執筆にあたる方々の選定も並行して進めています。各専門部会の統括にあたる方々に「町誌編集委員会」の委員をお願いする予定です。

町誌編さん事業日誌（抄）

年	月 日	内 容
平成29年	1月 1日	徳之島町誌編さん審議会条例、および規程が施行。
	9月 8日	徳之島町誌編さん専門員設置要綱が施行
	9月28日	町誌編さん専門員 1名委嘱。岩下洋一着任。
	11月1日	情報収集・調査——南西日報新聞記事の入力ほか
平成30年	3月 4日 ～6日	『宇検村誌』発刊記念シンポジウム参加。 近隣自治体史編さん状況の視察・情報収集—宇検村・瀬戸内町
	4月 2日	徳之島町誌編さん室を町生涯学習センター3階に設置。 町誌編さん室室長・米田博久、主事補・東慶久着任。 町誌編さん専門員1名増員。大村達郎着任。

今後の予定

年	月 日	内 容
平成30年	5月 中旬	近隣自治体史編さん状況の視察・情報収集—奄美市・大和村・宇検村・瀬戸内町 『町制60周年記念誌（仮称）』編集作業開始。 町内小学校・中学校において史・資料調査開始。
	6月 ～	編さん審議会・編集委員会委員選定。刊行計画等の策定
	8月 下旬	平成30年度徳之島町誌編さん審議会会議開催、および委員委嘱。
	9月 下旬	『町制60周年記念誌（仮称）』刊行。
	12月	平成30年度徳之島町誌編集委員会会議開催、および委員委嘱。
平成31年	1月 ～	徳之島町誌各専門部会発足、各部会委員委嘱。調査開始

お手元に古い写真や文書などはありませんか？

町誌編さん事業で活用される資料はきわめて膨大な数にのぼります。そして、それは島内在住の皆様方から寄せられる情報量によって大きく左右されます。**古写真・古文書・民具等をお持ちの方はぜひ町誌編さん室までお知らせください。**編さん室員が写真等で記録作業を行い、必ず返却します。

「徳之島町 町誌編さんだより」 創刊号

〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津2918

徳之島町生涯学習センター3階（徳之島町郷土資料館内） 電話番号：0997-82-2908

徳之島町誌編纂室

本紙編集担当：岩下洋一・大村達郎

※ 徳之島町役場では、条例等の法令名や、事業名・部署名については「編纂（へんさん）」の表記を使用しています。本紙では、発行元名を除いて、町民への広報としての役割から「編さん」の表記で統一しています。ご了承ください。

